

文化



落語的見聞録

文珍さんの落語的見聞録 9月「昔も今も怖いものは怖い」

神戸新聞 9月8日朝刊より

2022年(令和4年)

9月8日

木曜日

神戸新聞社

今も昔も怖いものは怖い

電車の中で向かい側に座

っている乗客をホッと見 級生は昔ながらのガラケー ていると、横並びのシートの携帯を使っている。その に10人が座っていて、その友人には最近悩みがあるど うち9人までがスマホを触る。「携帯の中に多くの オシサンが、ただホッとこの年になるとくくなって している。時代やなあ。しまった友人も知人もい 昨今は、車中でほとんど。これを携帯から消去し の人がスマホを触っている良いものか…何となく、

のに、1人くらいはスマホ 消すのがつらい」とのこと。える、亡くなった友人の携 帯を触らない人もいるんだ… 「一度、かけてみたら」 帯書。消して良いものか と言つと「つなごつたら怖 …この文明の時代に人の 荷さまの使い。イヌにほえ といがな…」と、その時は笑 心にはいまだ割り切れない としていた。それが後日、着 信音が鳴ったので誰からだ そのうち、携帯書の精 霊流しをしたり、護摩たき るのを見ると、亡くなった 人からの電話。「エー、え をしたり。番書を書いた紙 らいこつちゃ。お葬式にも を庭に埋めたら番書が夜、

それで師匠は2人に声を かけ「私は壬子の狐、お稲 荷さまの使い。イヌにほえ られて困る」と道連れにな ってもらい、お札にと木の 葉を渡し「これは今夜のお 礼です。今は木の葉に見え ますが、小判で通用します」 とたます。2人の男は喜んで吉原に遊びに行き、勘定 に木の葉を出す。すると「こ れは木の葉、あなたらには 何に見えます」「ウーンお れたちが見てもやはり木の 葉」。 怖いと思つ時、心にスキ ができるのだ。スマホの時 代でも人の心は変わらな 列席ありがとごさいますし っついていると、後から2人連 た。ホツ、やれやれと思 れの男。2人は狐が出るの ったそう。年齢と共に増 っでは…とおびえている。 家) 次回回は10月13日

落語 (かつらぶんちゃん) 落語